

様へ

説明看護師(外来)









看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日
経過	入院日	当日術前	当日術後
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○心身ともに安定した状態で手術を受けられる ○治療に対する不安を表出できる 		<ul style="list-style-type: none"> ○術後合併症を起こさない(出血、深部静脈血栓症、肺炎、縫合不全、感染、腸閉塞) ○合併症予防のためリハビリ(歩行訓練、呼吸訓練)がおこなえる
検査	<ul style="list-style-type: none"> 身長、体重測定 採血 	<ul style="list-style-type: none"> 体重測定 	<ul style="list-style-type: none"> 採血 レントゲン撮影
食事	入院後流動食 夕食後絶食、21時以後絶飲食 経口補水液は、麻酔科の指示で服用 朝食は自宅	<ul style="list-style-type: none"> 絶飲食 	<ul style="list-style-type: none"> 絶食 朝より水分開始
処置・観察	<ul style="list-style-type: none"> リストバンドを装着します(退院日まで) 弾性ストッキングのサイズを測定し、お渡しします 必要時、糖尿病・内分泌科の診察があります 	<ul style="list-style-type: none"> 時間になれば看護師が手術室にご案内します 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後以下の挿入物、装着物があります 酸素マスク 心電図モニター 点滴の管 背中のチューブ(鎮痛剤) 創部のチューブ(鎮痛剤) 創部の管(ドレーン) 尿道カテーテル フットポンプ(血栓予防) 創部を観察、処置を行います
状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります			
点滴・内服	<ul style="list-style-type: none"> 持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください 以下を服用します <ul style="list-style-type: none"> 昼 500ml の下剤 眠前 下剤 	<ul style="list-style-type: none"> 手術室で点滴を開始します(手術が午後の場合は病棟で点滴を開始します) 	<ul style="list-style-type: none"> 以下の点滴を行います <ul style="list-style-type: none"> 持続点滴 抗菌薬 鎮痛剤 胃薬 肝保護剤
行動・リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> シャワー浴または清拭を行います 制限ありません 	<ul style="list-style-type: none"> 以下の手術準備をします <ul style="list-style-type: none"> 手術着に着替え 弾性ストッキング装着 入れ歯、アクセサリ、時計等の取り外し 	<ul style="list-style-type: none"> 術後、集中治療室にベッドで入室します 翌朝までベッド上安静です
説明	<ul style="list-style-type: none"> 医師・麻酔科医より説明(外来又は入院時) <ul style="list-style-type: none"> 治療計画について 手術について 麻酔について 病棟・手術室・集中治療室看護師より説明 <ul style="list-style-type: none"> 入院生活について(パスシートを使用) 手術について 集中治療室について 薬剤師より説明 <ul style="list-style-type: none"> 持参薬確認 使用薬剤について 		<ul style="list-style-type: none"> 医師より説明 <ul style="list-style-type: none"> 手術結果について 看護師より説明 <ul style="list-style-type: none"> 術後の注意点について 安静について 下肢運動について 痛み止めの使用方法について

*** 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください**

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日
経過	術後 2 日目	術後 3～4 日目	術後 5～9 日目 (退院日)
目標	○術後合併症を起こさない (出血、深部静脈血栓症、肺炎、縫合不全、感染、腸閉塞) ○合併症予防のためリハビリ (歩行訓練、呼吸訓練) がおこなえる		
検査	体重測定 	3 日目・5 日目・7 日目  採血  レントゲン撮影	
食事	 絶食 (水分可)	3 日目 朝より五分粥食開始 4 日目 朝より全粥食	5 日目 朝から常食 退院日は、朝食のみ
処置・観察	以下の挿入物があります ・点滴の管 → 点滴が不要となれば抜去します ・背中のチューブ (鎮痛剤) → 術後 2～3 日で抜去します ・創部の管 (ドレーン) → 術後 4 日程度で抜去します ・尿道カテーテル → 術後 2～3 日で抜去します  創部を観察、処置を行います 		退院時にリストバンドを外します
点滴・内服	状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります		
行動・リハビリ	状況に合わせて、全身清拭、洗髪、足浴を行います  尿道カテーテル抜去後はトイレで排尿できます  リハビリを継続します		創部の治癒状況に合わせてシャワー浴を再開します (週 3 回、病棟毎で日が異なります) (退院日) 朝食後退院です
説明	医師より説明 ・退院後の治療計画、療養上の留意点について 看護師より説明 ・退院後の療養生活について (退院療養計画書をお渡しします)		

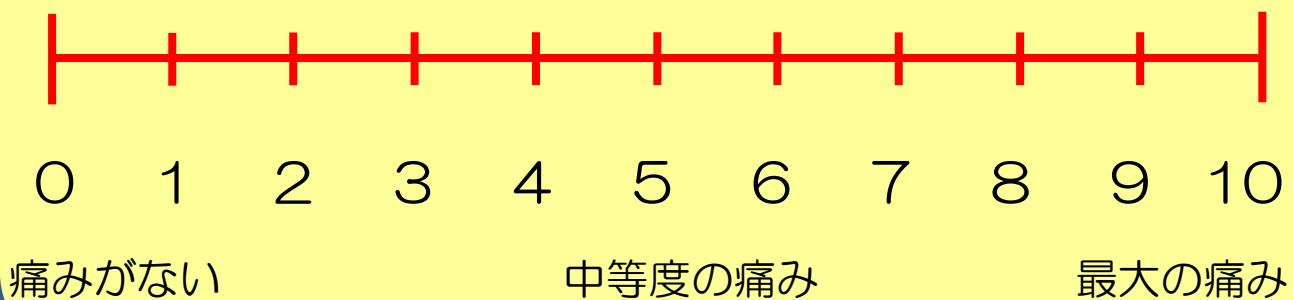
手術後の傷の痛みを教えてください

講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された術後疼痛管理チーム（APS）チームが、患者さんの傷の痛みに対して、手術前から計画を立て、傷の痛みが軽減するよう取り組んでまいります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale)：痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。

👉 手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください

10 を最大の痛みとした場合
今の痛みはどのあたりですか



APS チームがサポートします。

よろしくお願いします。

